

京丹後市教育振興計画

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
学校教育課	川村 義輝
生涯学習課	安達 純
子ども未来課	蒲田 幸宏

重点目標	4	豊かな人間性・社会性を育みます
基本の方針	学校園、家庭、地域及び行政の協働により、子どもたちが周囲からの愛情や信頼、期待などに「包み込まれているという感覚」を育むとともに、人や社会との絆、思いやりを大切に育む豊かな人間性・社会性を育みます。 また、不登校等の課題がある児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行います。	

1. 施策の方向性

PLAN

1. 人を思いやり、尊重する社会性の育成	①小中一貫教育による学校園や校種を超えた交流授業や合同行事など、多様な集団での活動を充実し、子どもたちの自尊感情を高めるとともに、豊かな人間関係や社会性を育みます。 ②生命を大切にすることを他人を尊重する心などを育むとともに、新たに教科となった道徳科をはじめ、すべての教育活動において、就学前から中学校までの系統性・一貫性のある道徳教育や人権教育を推進します。 ③地域の人々との幅広い交流の機会を拡充することで、ルールやマナー、社会常識、社会性を育みます。 ④各学園(中学校区)において、学校園、家庭及び地域が子どもたちの生活実態や課題を共有し、規範意識や社会性を高める取組みを協働して進めます。 ⑤情報機器の適切な使用やSNSに代表される情報通信ネットワークのルール・モラル等について、児童生徒の実態に応じて具体的に指導するとともに、専門家や保護者、学校支援ボランティア等と連携し、系統のかつ一貫性のある指導体制を整備します。
2. 生徒指導体制、教育相談体制の充実	①子どもたちが集団生活を通して課題を解決する意欲と実践力を身に付けることができるよう、一人ひとりの生活実態の把握や内面理解の充実を図ります。 ②学校園の状況に応じてスクールサポーターを配置するなど、子ども一人ひとりの課題やニーズに対応するきめ細かな支援体制を整備します。 ③京丹後市いじめ防止等基本方針に基づき、組織体制の整備を行うとともに、関係機関と連携し、いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処のための対策を総合的かつ効果的に推進します。 ④不登校等の児童生徒の多様な実態と課題に対応し、学校復帰と社会的自立を支援するため、教育支援センター「麦わら」の相談・支援体制の充実及び機能強化を図ります。
3. 家庭・地域の教育力の向上	①各学園(中学校区)の学校園、家庭及び地域が、育みたい子ども像や児童生徒の実態及び課題を共有し、緊密に連携して指導を行うしくみづくりを進めます。 ②家庭は自己肯定感や豊かな心、他者に対する思いやりや命を大切に育む気持などを養う最も重要な役割を担う場ととらえ、PTA等と連携しながら、乳幼児期から思春期(中学生)までの子どもの成長段階に応じた家庭教育支援を進めます。 ③子どもの豊かな人間性・社会性を育むとともに、孤立しがちな親や子育てに悩みを抱えている親への支援等のため、家庭子ども相談室による相談や関係機関の連携による支援を実施します。また、家庭教育支援チームの活動を進めるとともに、関係団体の活動を支援します。 ④子どもたちが身近な地域で体験や交流ができる活動の充実を図る。 ⑤子どもたちの放課後の居場所づくりのため、地域ボランティアの協力を得て様々な体験活動、地域住民との交流活動を行うとともに、地域における子どもたちの活動拠点を確保するための事業の拡充を進めます。 ⑥保護者の就労状況の多様化や家庭環境の変化に伴い、放課後における児童の健全育成を図るため実施している放課後児童健全育成事業の利用が増加しています。利用ニーズを的確に把握するとともに、サービス体制や施設環境の整備を推進し、待機児童ゼロを継続します。 また、青少年の健全育成と安全・安心な地域づくりのため、青少年健全育成会をはじめ、関係団体と連携した効果的な活動を進めます。
4. 芸術文化を通じた豊かな感性、情緒の育成	①子どもが生涯にわたって自然や歴史、仲間、多様な人々と関わり合う体験活動や、学校支援ボランティア等の専門的な知見や技能を活用するなど、我が国や京丹後市の伝統文化や自然環境、文化・芸術等に親しみ、学ぶ機会を充実します。 ②学校園や家庭での読書活動により子どもの豊かな情緒を育むため、関係機関・団体等との連携・協力関係をさらに強化し、学校園、家庭及び地域が一体となった取組みを進めるとともに、学校図書館の機能強化を図ります。

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～令和6年度	
京丹後市いじめ防止等基本方針	国、府、学校、地域社会、家庭及びその他の関係者が連携のもと、社会総がかりでいじめの問題の克服に向けて取り組むとともに、いじめ防止対策推進法第12条の規定に基づき、いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処のための対策を総合的かつ効果的に推進するために策定	平成26年6月	計画期間の定めなし	策定から3年経過を目途に見直し(平成30年度見直し)

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
京丹後市学校教育改革構想	中学校卒業時に期待される学力をすべての生徒が確実に身に付けることができるようにしていくため、保育所・幼稚園、小学校、中学校の10年間を見据え、より系統的で一貫性のある教育を実践するための構想を策定	平成24年11月	計画期間の定めなし	

2. 主な取組と構成事務事業一覧 **PLAN** **DO** ※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照 **CHECK** **ACT**

1. 人を思いやり、尊重する社会性の育成		決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み		R2決算額	R3決算額	R4予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績) 担当課				
①	小中一貫教育による学校園や校種を超えた交流授業や合同行事など、多様な集団での活動を充実し、子どもたちの自尊感情を高めるとともに、豊かな人間関係や社会性を育みます。				
②	生命を大切にしたり他人を尊重する心などを育むとともに、新たに教科となった道徳科をはじめ、すべての教育活動において、就学前から中学校までの系統性・一貫性のある道徳教育や人権教育を推進します。				
③	地域の人々との幅広い交流の機会を拡充することで、ルールやマナー、社会常識、社会性を育みます。				
④	各学園(中学校区)において、学校園、家庭及び地域が子どもたちの生活実態や課題を共有し、規範意識や社会性を高める取組を協働して進めます。				
⑤	情報機器の適切な使用やSNSに代表される情報通信ネットワークのルール・モラル等について、児童生徒の実態に応じて具体的に指導するとともに、専門家や保護者、学校支援ボランティア等と連携し、系統的かつ一貫性のある指導体制を整備します。				
1	小学校教育推進活動実践事業 学校教育課 府の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。	3,527	1,232	-	統合(整理)
2	小学校丹後学等教育活動実践事業《再掲》 学校教育課 授業改善や教員の指導力向上を図るため、府の研究指定校を受けて教育実践に取り組むとともに、地域の学習を通じて郷土への理解、愛着と誇りを高め、将来の自己の生き方・在り方の探求を進める「丹後学」の充実を図る。また、教育課題の解決に向けた教職員の研究事業に取り組むとともに、修学旅行における引率教員の施設入場料等に係る経費を支援する。	-	-	1,895	統合(整理)
3	中学校教育推進活動実践事業 学校教育課 府の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。	3,161	4,077	-	統合(整理)
4	中学校丹後学等教育活動実践事業《再掲》 学校教育課 教員の指導力向上や、生徒の自己肯定感を高め未来を拓く力を身につけるため、府の研究指定校を受けて教育実践に取り組むとともに、地域の学習を通じて郷土への理解、愛着と誇りを高め、将来の自己の生き方・あり方の探求を進める「丹後学」の充実を図る。また、教育課題の解決に向けた教職員の研究事業に取り組むとともに、修学旅行における引率教員の施設入場料等に係る経費を支援する。	-	-	1,189	統合(整理)
2. 生徒指導体制、教育相談体制の充実		決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み		R2決算額	R3決算額	R4予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績) 担当課				
①	子どもたちが集団生活を通して課題を解決する意欲と実践力を身に付けることができるよう、一人ひとりの生活実態の把握や、内面理解の充実を図ります。				
②	学校園の状況に応じてスクールサポーターを配置するなど、子ども一人ひとりの課題やニーズに対応するきめ細かな支援体制を整備します。				
③	京丹後市いじめ防止等基本方針に基づき、組織体制の整備を行うとともに、関係機関と連携し、いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処のための対策を総合的かつ効果的に推進します。				
④	不登校等の児童生徒の多様な実態と課題に対応し、学校復帰と社会的自立を支援するため、教育支援センター「麦わら」の相談・支援体制の充実及び機能強化を図ります。				
5	いじめ防止啓発推進事業 学校教育課 「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づくいじめ防止等の啓発活動を実施し、市と市民が一体となっていじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。	116	1,523	1,774	現状維持
6	いじめ防止対策等運営事業 学校教育課 いじめ問題対策連絡会議及びいじめ防止対策等専門委員会を設置し、関係機関が一体となって、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。	253	249	392	現状維持
7	指導主事設置事業 学校教育課 学校教育及び就学前教育の充実を図るため、指導主事(会計年度任用職員)4人を配置し、専門的事項に関する指示・指導を行う。	11,941	12,626	12,712	現状維持
8	就学支援・教育相談事業 学校教育課 児童生徒の不登校など学校不適応の状況を、発達検査などにより把握・分析し、相談・支援体制を整え、児童生徒が安定した学校生活を送ることができるように支援する。	222	309	801	現状維持
9	教育支援センター管理運営事業 学校教育課 不登校、又はその傾向にある児童生徒の学校生活への復帰等の社会的自立を支援する。	10,275	10,209	11,549	現状維持
10	小学校スクールサポーター等設置事業《再掲》 学校教育課 スクールサポーターを配置し、児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。	53,166	60,282	83,252	現状維持
11	中学校スクールサポーター等設置事業《再掲》 学校教育課 スクールサポーターを配置し、生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。	39,572	38,027	50,196	現状維持

3. 家庭・地域の教育力の向上		決算額(単位:千円)			事務の改善		
主な取り組み		R2決算額	R3決算額	R4予算額	評価を踏まえた今後の方向性		
↓	事務事業名称・事業内容(実績)					担当課	
<p>① 各学園(中学校区)の学校園、家庭及び地域が、育みたい子ども像や児童生徒の実態及び課題を共有し、緊密に連携して指導を行うしくみづくりを進めます。</p> <p>② 家庭は自己肯定感や豊かな心、他者に対する思いやりや命を大切に育むための気持などを養う最も重要な役割を担う場ととらえ、PTA等と連携しながら、乳幼児期から思春期(中学生)までの子どもの成長段階に応じた家庭教育支援を進めます。</p> <p>③ 子どもの豊かな人間性・社会性を育むとともに、孤立しがちな親や子育てに悩みを抱えている親への支援等のため、家庭子ども相談室による相談や関係機関の連携による支援を実施します。また、家庭教育支援チームの活動を進めるとともに、関係団体の活動を支援します。</p> <p>④ 子どもたちが身近な地域で体験や交流ができる活動の充実を図る。</p> <p>⑤ 子どもたちの放課後の居場所づくりのため、地域ボランティアの協力を得て様々な体験活動、地域住民との交流活動を行うとともに、地域における子どもたちの活動拠点を確保するための事業の拡充を進めます。</p> <p>⑥ 保護者の就労状況の多様化や家庭環境の変化に伴い、放課後における児童の健全育成を図るため実施している放課後児童健全育成事業の利用が増加しています。利用ニーズを的確に把握するとともに、サービス体制や施設環境の整備を推進し、待機児童ゼロを継続します。また、青少年の健全育成と安全・安心な地域づくりのため、青少年健全育成会をはじめ、関係団体と連携した効果的な活動を進めます。</p>							
12	家庭子ども相談室事業	子ども未来課	147	210	498	現状維持	
家庭児童の適正な養育及び福祉の向上を図る。							
13	家庭教育事業	生涯学習課	810	1,026	1,721	現状維持	
発達段階に応じた学習及び交流機会を提供するとともに、PTA活動を支援することによって、全ての教育の出発点であり、子どもの成長の基礎となる家庭教育を推進する。							
14	放課後児童健全育成事業	子ども未来課	283,042	219,211	248,340	現状維持	
保護者の就労等により放課後や長期休業期の昼間に家庭保育を受けることができない児童に対し、安全で充実した生活の場を与えることにより、その健全な育成を図る。							
15	放課後児童健全育成事業【繰越】	子ども未来課	2,505	-	-		
(仮称)大宮峰山インターチェンジアクセス道路の整備に伴い、計画区域にある峰山放課後児童クラブ園舎及び付属施設を解体撤去する。							
16	放課後子ども教室事業	子ども未来課	507	433	780	現状維持	
放課後に小学校の余裕教室を子どもたちの安全・安心な居場所として活用し、地域住民の参画により、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。							
4. 芸術文化を通じた豊かな感性、情緒の育成		決算額(単位:千円)			事務の改善		
主な取り組み		R2決算額	R3決算額	R4予算額	評価を踏まえた今後の方向性		
↓	事務事業名称・事業内容(実績)					担当課	
<p>① 子どもが生涯にわたって自然や歴史、仲間、多様な人々と関わり合う体験活動や、学校支援ボランティア等の専門的な知見や技能を活用するなど、我が国や京丹後市の伝統文化や自然環境、文化・芸術等に親しみ、学ぶ機会を充実します。</p> <p>② 学校園や家庭での読書活動により子どもの豊かな情緒を育むため、関係機関・団体等との連携・協力関係をさらに強化し、学校園、家庭及び地域が一体となった取り組みを進めるとともに、学校図書館の機能強化を図ります。</p>							
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業							
17		子ども未来まちづくり審議会事業	子ども未来課	46	119	139	現状維持
すべての子どもが健康で幸せに暮らせるまちづくりの推進及び子ども・子育て支援事業計画、保育所再編等推進計画、特定教育・保育施設の利用定員の設定等について必要な審議等を行う。							
計			409,244	349,414	413,910		

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	学校園、家庭、地域及び行政の協働により、子どもたちが周囲からの愛情や信頼、期待などに「包み込まれているという感覚」を育むとともに、人や社会との絆、思いやりを大切に育む豊かな人間性・社会性を育みます。 また、不登校等の課題がある児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行います。							
	目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
主な目標指標			年度	年度	年度	年度	年度	年度
	不登校児童の出現率<小学校>	—	5人/0.16%	H25	20人/0.98%	R3	減少させる	R6
	不登校生徒の出現率<中学校>	—	47人/2.49%	H25	46人/3.47%	R3	減少させる	R6
	いじめの認知件数/認知率<小学校>	—	386件/12.7%	H25	649件/27.6%	R3	減少させる	R6
いじめの認知件数/認知率<中学校>	—	189件/10.2%	H25	54件/4.1%	R3	減少させる	R6	

目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度		年度		年度
認知されたいじめの年度内解消率<小学校>	—	357件/92.5%	H25	92.4% (いじめの解消要件が定義されたため、令和3年度第2回調査の追跡調査結果を記載)	R3	100%	R6
認知されたいじめの年度内解消率<中学校>	—	181件/95.8%	H25	90.0% (いじめの解消要件が定義されたため、令和3年度第2回調査の追跡調査結果を記載)	R3	100%	R6
いじめはいけないことだという意識がある児童の割合<小学生>	%	97.0 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙小6	H25	98.8	R3	増加させる	R6
いじめはいけないことだという意識がある生徒の割合<中学校>	%	90.9 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙中3	H25	94.6	R3	増加させる	R6
学校のきまりや規則を守る意識がある児童の割合<小学生>	%	93.8 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙小6	H25	90.0	R3	増加させる	R6
学校のきまりや規則を守る意識がある生徒の割合<中学校>	%	90.8 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙中3	H25	95.0	R3	増加させる	R6
人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童の割合<小学生>	%	94.4 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙小6	H25	94.0	R3	増加させる	R6
人の気持ちが分かる人間になりたいと思う生徒の割合<中学生>	%	95.2 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙中3	H25	97.0	R3	増加させる	R6
人の役に立つ人間になりたいと思う児童の割合<小学生>	%	94.0 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙小6	H25	95.7	R3	増加させる	R6
人の役に立つ人間になりたいと思う生徒の割合<中学生>	%	93.2 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙中3	H25	97.1	R3	増加させる	R6
自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合<小学生>	%	—	R1	68.2	R3	増加させる	R6
自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合<中学生>	%	—	R1	71.7	R3	増加させる	R6
住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合<小学生>	%	—	R1	80.2	R3	維持する	R6

主な目標指標

	目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
				年度		年度		年度
主な目標指標	住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合<中学生>	%	-	R1	76.2	R3	維持する	R6
	放課後児童クラブ待機児童数ゼロの継続	人	-	R1	0	R3	0	R6

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK

ACT

進捗状況区分	評価	令和3年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	○	<p>《不登校児童生徒の出現率》 不登校児童生徒の出現率は、全国的に増加しており、本市においても小学校で0.4%増加した。中学校は全国的に増加の傾向がある中、0.24%減少している。別室指導等の物的な居場所づくりやSC、SSWをはじめとした教職員とのつながり、すなわち心理的な居場所づくりの成果であるとも考えられる。また、保幼小中一貫教育の推進による各校園での未然防止を重点とした取組みや確実な情報の共有等によって、不登校解消に一定の成果は上がっている。しかし、解消より新規の出現が多いことから不登校の出現率が増加傾向にある。今後も未然防止の取組み推進が更に必要である。</p> <p>《いじめの認知件数/認知率》 令和3年度は、いじめの認知件数・認知率とも小中学校で令和2年度と比較して少し増加した。令和2年度は、コロナ禍の中で通常の学校生活とは異なる環境下での調査であったことが原因として予測できる。引き続き、些細な兆候も見逃さない組織的な対応を行うとともに、認知件数・認知率のみにとらわれず、より丁寧な指導を継続していく必要がある。</p> <p>《認知されたいじめの年度内解消率》 令和3年度第2回いじめ調査の認知事象に基づく追跡調査結果における未解消事象については、今後も、各校のいじめ防止基本方針に基づき、実態把握や情報共有、組織的な対応を徹底し丁寧な指導を行うとともに、関係機関と連携した体制強化を図っていく必要がある。</p> <p>《いじめはいけないことだという意識がある児童生徒の割合》 いじめはいけないことだという意識がある児童生徒の割合は、年間3回のいじめ調査や追跡調査、児童生徒への丁寧な指導により、小学校で増加しているが、中学校で減少した。小中学校ともに高い水準を維持しているが、今後も児童生徒の豊かな心を育成するため、道徳科をはじめ、学校の教育活動全体を通じた取組みの充実を図る必要がある。</p> <p>《学校のきまりや規則を守る意識がある児童生徒の割合》 学校のきまりや規則を守る意識がある児童生徒の割合は、中学校が減少傾向にある。引き続き各校園の丁寧な指導及び保幼小中一貫教育による一貫性のある指導等により、就学前からの規範意識の醸成等による系統的な指導を進めていく必要がある。</p> <p>《人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合》 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合は、中学校が減少傾向にあるが、小中学生ともに高い水準で推移している。教育活動全体を通じた丁寧な指導により、人の気持ちを理解して行動したり、発言したりすることの重要性が確実に身に付いてきている。今後も個別の配慮児童生徒等への丁寧な指導が必要である。</p> <p>《人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合》 人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合は、小中学校ともにほぼ横ばいであり、高い水準で推移している。教育活動全体を通じた丁寧な指導により、社会貢献等への意識が確実に身に付いてきている。今後更に高めていくため、ボランティア活動など体験学習等の充実を図る必要がある。</p> <p>《自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合》 平成30年度の結果と比較すると、特に、小学校での結果が低い。「将来の夢や目標をもっている」項目と関わりが強い。日々の関わりの中で、児童生徒のよさを見つけ、ほめていることが児童生徒に伝わるようにほめるなど、意図的な働きかけにより、自尊感情や自己肯定感の基盤を育みたい。「生徒指導の3機能」を生かした授業づくりと学級経営、教育活動をさらに推進していく必要がある。</p> <p>《住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合》 平成30年度の結果と比較すると、結果が低い傾向にある。さらに、令和2年度の結果と比較しても、減少の割合が高い。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域における行事が中止となっていることが要因だと考えられるが、「丹後学」を通して、地域への理解と愛着を深めていく必要がある。</p> <p>《放課後児童クラブ待機児童数ゼロの継続》 社会環境の変化に伴い放課後、家庭で適切な保育が受けられない家庭が増加していることもあり利用者が増加傾向にある。既存の施設や学校の空き教室を活用しているため、十分な保育室の確保ができないところもあるが、支援員の確保と併せ、受け入れ態勢の整備に努めていきたい。</p>
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
×		
大幅に遅れている		

5. 今後の施策展開の考え方(令和4年～令和6年度での主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	子どもたちの自尊感情を高め、豊かな人間性・社会性を育むため、保幼小中一貫教育による交流学习や児童会・生徒会活動などの集団活動を充実させるとともに、道徳科をはじめキャリア教育等学校の教育活動全体を通じた系統的で一貫性のある指導の更なる充実を図る。
	2	いじめや不登校など、児童生徒の多様な課題に対応するため、臨床心理士による教育相談体制を拡充するとともに、教育支援センターの相談支援機能を更に高めるなど、個の課題やニーズに応じたきめ細かな相談支援体制の整備・強化を図る。
	3	地域の子ども教室では、体験活動だけでなく、教室間での情報交流についても支援しながら教室活動の維持、拡充に努める。青少年健全育成会では、各地域ごとに子どもの体験活動を実施するほか、あいさつ運動や夏休みパトロールなどで地域の子どもの見守り活動を継続する。また平成28年度からスタートした「放課後子ども教室」事業は、安定的運営を目指す。
	4	子どもたちの芸術や自然を愛する心豊かな感性を育むため、教育活動等における文化体験や芸術鑑賞など、国や府の様々な事業や学校支援ボランティア等を活用し、伝統文化や芸術等に親しむ機会を充実させるとともに、学校図書の充足率向上を図る。

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	02 小学校費						1,232千円	1,574千円	342千円	78.2%	課	学校教育課
	目	02 小学校教育振興費											
	事業	05 小学校教育推進活動実践事業											
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源 府補 府委	KYO発見仕事・文化体験活動推進事業補助金(1/2) 166千円 次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業費委託金(10/10) 100千円										
目的	府の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。												
主要な事務・事業の概要	○校外学習や仕事・文化体験活動、総合的な学習活動（講師謝金、消耗品費等） 833千円 ・「KYO発見 仕事・文化体験事業」推進事業（府補助事業） 336千円 ・総合的な学習活動推進事業（市単独事業：全校で実施） 497千円 ○次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業（消耗品費） 100千円 実施校：いさなご小学校・しんざん小学校 実施年度：令和2年度～4年度（3か年） ○教育研究事業負担金 146千円 京丹後市小学校教育研究会 小学校教育に関する研究を推進し、小学校教育の充実・発展と教職員の資質の向上を図るため、各教科の研究、研修会等を実施。		○修学旅行引率補助金 153千円 小学校17校 引率教員65人										
	成果・課題	○地域社会における仕事や文化の体験活動を通して、キャリア教育を推進するとともに、府の研究指定校を受けて教育活動に取り組むことで、児童の基礎学力の向上を図り、豊かな人間性を育む教育のより一層の推進につながった。 ○児童の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続していくため、教職員の資質の向上や創意工夫による実践活動が必要である。											

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	03 中学校費						4,077千円	4,487千円	410千円	90.8%	課	学校教育課
	目	02 中学校教育振興費											
	事業	05 中学校教育推進活動実践事業											
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源 国補 府補 府委 府委	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1,000千円 KYO発見仕事・文化体験活動推進事業補助金(1/2) 121千円 未来の担い手育成'07'08研究事業費委託金(10/10) 200千円 次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業費委託金(10/10) 50千円										
目的	府の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。												
主要な事務・事業の概要	○校外学習や仕事・文化体験活動、総合的な学習活動（消耗品費等） 376千円 ・「KYO発見 仕事・文化体験事業」推進事業（府補助事業：全校で実施） 247千円 ・総合的な学習活動推進事業（市単独事業：全校で実施） 129千円 ○和装教育推進事業（消耗品費） 18千円 ・着付け体験学習（全中学校） 受講生徒：452人 ○教育実践研究指定事業（講師謝金、消耗品費） 250千円 ・未来の担い手育成プログラム研究校 200千円 実施校：弥栄中学校 実施年度：令和元年度～3年度（3か年） ・次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業 50千円 実施校：峰山中学校 実施年度：令和2年度～4年度（3か年）		○教育研究事業負担金 83千円 京丹後市中学校教育研究会 中学校教育に関する研究を推進し、教職員の資質の向上と中学校教育の推進を図るため、各教科の研究、研究集録・指導案の作成を実施。 ○修学旅行引率補助金 95千円 中学校6校 引率教員50人 ○修学旅行キャンセル料補助金 3,255千円 新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた中学校2校の修学旅行を延期したことに伴う旅行代金のキャンセル料を補助（旅行代金の30%） ・大宮中学校（生徒94人・教員10人）・久美浜中学校（生徒70人・教員7人）										
	成果・課題	○府の研究指定校を受けて教育活動に取り組むことで、生徒の基礎学力の向上を図り、コミュニケーション能力など、豊かな人間性を育む教育の推進につながった。 ○新型コロナウイルス感染症の影響で予定していた修学旅行をやむを得ず延期したことにより発生したキャンセル料について市の補助金で支援することで、保護者等の経済的な負担を軽減することができた。											

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	01 教育総務費							
	目	02 事務局費							
	事業	16 いじめ防止啓発推進事業							
基本計画			1,523千円	1,681千円	158千円	90.6%	(参考)当初予算額	1,681千円	学校教育課
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実						
目的	「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づきいじめ防止等の啓発活動を実施し、市と市民が一体となっていじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。		主な財源						
主要な事務・事業の概要	○いじめ防止講演会（講師謝金、消耗品費） 参加者：56人 39千円 開催日：令和3年12月8日（水） 対象：市民、教職員、PTA 講師：聖母の小さな学校 梅澤 良子 先生 会場：アグリセンター大宮		○京丹後市子どもSNS（LINE）相談窓口設置 1,430千円 ・システム導入委託料 264千円 ・研修業務委託料（SNS相談の手順と留意点） 165千円 ・システム保守委託料 385千円 ・システム使用料 616千円 相談開始日：令和3年8月25日 相談日時：平日16時～21時 相談対象：市内に居住する小中学生 対応者：教育委員会事務局指導主事、臨床心理士 登録数：66人 相談延べ件数：23件 ※いじめ相談件数：2件						
	○いじめ防止街頭啓発 京丹後市子どもSNS相談やフリーダイヤルが掲載されているポケットティッシュを配布 実施日：令和3年11月18日（木） 場所：ショッピングセンターマイン		○いじめ防止講演会及び街頭啓発キャンペーンを通じて、いじめの問題等について、正しい理解や意識の高揚を促すことができた。 ○SNS窓口の設置により相談への数居が下がり、いじめを含め幅広い相談を受けることができた。 ○SNS等を介した誹謗中傷やいじめ事象が増加傾向にあることから、保護者への啓発活動と併せて教職員の指導力の向上を図る必要がある。 ○SNS相談窓口の周知など、引き続き、相談しやすい環境づくりに努める必要がある。						
	○いじめ相談専用電話設置（備品購入費、通信運搬費） 54千円 フリーダイヤル利用料、いじめ相談専用携帯電話利用料 スマートフォン購入費、機種交換手数料 相談受付：24時間対応 対応者：教育委員会事務局指導主事、臨床心理士 ※いじめ相談件数：0件		成果・課題						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	01 教育総務費							
	目	02 事務局費							
	事業	17 いじめ防止対策等運営事業							
基本計画			249千円	374千円	125千円	66.5%	(参考)当初予算額	374千円	学校教育課
基本計画			26 未来を拓く学校教育の充実						
目的	いじめ問題対策連絡協議会及びいじめ防止対策等専門委員会を設置し、関係機関が一体となって、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。		主な財源						
主要な事務・事業の概要	○いじめ問題対策連絡協議会経費（委員数：21人） 17千円 保育所、子ども園及び小中学校におけるいじめの防止対策や早期発見、いじめへの対処等に関する協議を行うため、「いじめ問題対策連絡協議会」を設置し、教育、福祉、医療、保健、警察及び司法等の関係機関との連携を図った。 開催日：令和3年7月6日（火） 会場：京丹後市役所峰山庁舎 ・報償費（委員謝金） 16千円 ・旅費（費用弁償） 1千円		○いじめ防止対策等専門委員会経費（委員数：5人） 232千円 いじめの防止等のための対策に関する事項や重大ないじめ事象が発生した場合に調査を行うため、弁護士、医師、臨床心理士、学識経験者からなる「いじめ防止対策等専門委員会」を設置し、会議を開催するなど、それぞれの専門的な立場からいじめ事象に対する助言を受けた。 開催日：第1回 令和3年10月30日（土） 第2回 令和4年3月12日（土） 会場：京丹後市役所大宮庁舎 ・報酬 126千円 ・旅費（普通旅費・費用弁償） 98千円 ・消耗品費 8千円						
			○専門的な立場から指導・助言を受けることにより、学校に対していじめ防止等のための取組やいじめ事象の解決に向けた支援を行うことができた。 ○いじめは、どの子どもにも、どの学校でも起こり得ることを踏まえ、いじめの未然防止及び早期発見に向けた取組を推進する必要がある。 ○いじめの解決に向けた組織連携や見立ての在り方について、事例研修を行う中で各小中学校の対応力をさらに高める必要がある。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局															
	項	01 教育総務費	12,626千円	12,909千円	283千円	97.8%																	
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額																	
	事業	03 指導主事設置事業				12,909千円	課	学校教育課															
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源																				
目的	学校教育及び就学前教育の充実を図るため、指導主事（会計年度任用職員）4人を配置し、専門的事項に関する指示・指導を行う。																						
主要な事務・事業の概要	<p>4人の地域担当の指導主事を各地域公民館に配置し、学校経営や教育内容について、その専門性や見識や経験を活かした指導、助言を行い、学校現場における課題解消に向けて対応した。</p> <p>【指導主事 4人】</p> <p>○会計年度任用職員任用経費 12,400千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 8,658千円 ・期末手当 1,636千円 ・共済費（社会保険料、雇用保険料） 1,709千円 ・費用弁償 397千円 <p>○市内業務移動に係る費用弁償 226千円</p>		<p>【指導主事配置状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>配置先</th> <th>配置人数</th> <th>所管町域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山地域公民館</td> <td>1人</td> <td>峰山町</td> </tr> <tr> <td>大宮地域公民館・久美浜地域公民館</td> <td>1人</td> <td>大宮町・久美浜町</td> </tr> <tr> <td>網野地域公民館</td> <td>1人</td> <td>網野町</td> </tr> <tr> <td>丹後地域公民館・弥栄地域公民館</td> <td>1人</td> <td>丹後町・弥栄町</td> </tr> </tbody> </table>						配置先	配置人数	所管町域	峰山地域公民館	1人	峰山町	大宮地域公民館・久美浜地域公民館	1人	大宮町・久美浜町	網野地域公民館	1人	網野町	丹後地域公民館・弥栄地域公民館	1人	丹後町・弥栄町
	配置先	配置人数	所管町域																				
峰山地域公民館	1人	峰山町																					
大宮地域公民館・久美浜地域公民館	1人	大宮町・久美浜町																					
網野地域公民館	1人	網野町																					
丹後地域公民館・弥栄地域公民館	1人	丹後町・弥栄町																					
		<p>成果・課題</p> <p>学校経営、教育内容に対する専門知識や豊かな経験を基にした指導や助言を行うことにより、不登校を含めた生徒指導上の諸問題への対応など、複雑多様化する教育現場の諸課題の克服に資することができた。</p>																					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	309千円	321千円	12千円	96.2%		
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額		
	事業	08 就学支援・教育相談事業				321千円	課	学校教育課
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	児童生徒の不登校など学校不適應の状況を、発達検査などにより把握・分析し、相談・支援体制を整え、児童生徒が安定した学校生活を送ることができるように支援する。							
主要な事務・事業の概要	<p>○教育相談事業及び研修の実施</p> <p>各小中学校において臨床心理士による児童生徒や保護者との教育相談を実施し、当該児童生徒の通う学校の教職員へのアドバイスを行った。また、児童生徒の不登校などの学校不適應の未然防止や解消に向けての対応の在り方について、各小中学校の教育相談担当者や心の教室相談員などを対象に研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談会場 大宮庁舎及び各小中学校 ・実施回数 毎月2回（大宮庁舎）及び適宜（各小中学校） 合計183回実施 ・相談件数 延べ252件 ・教育相談担当者研修 年3回 ・事例研修 教育支援部会などにて適宜実施（各小中学校） 		<p>○教育支援に係る発達検査備品購入費 92千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新版K式発達検査2020補充追加セット <p>○会議出張旅費 5千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有料道路通行料 					
	<p>○教育支援に係る発達検査記録用紙購入費 212千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WSC-IV知能検査記録用紙、日本版KABC-II記録用紙ほか 		<p>成果・課題</p> <p>臨床心理士による発達検査の実施、教育相談、教職員研修を実施することにより、適切な就学や支援へとつながり、児童生徒の学校適応が推進された。</p> <p>○中学校の不登校出現率の減少が見られる一方、小学校の不登校出現率が増加しているため、その要因分析を進めるとともに、不適應の未然防止、問題解消に向けて相談支援を行う必要がある。</p> <p>○コロナ禍で学校の活動に制限がある中、児童生徒の些細な変化やサインを見逃さないように、見守りと信頼関係の構築を行う必要がある。</p>					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	01 教育総務費							
	目	02 事務局費							
	事業	09 教育支援センター管理運営事業							
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		10,209千円	11,420千円	1,211千円	89.3%	課	学校教育課	
目的	不登校、又はその傾向にある児童生徒の学校生活への復帰等の社会的自立を支援する。		府補 府補 繰入金	不登校児童生徒に対する支援推進事業費補助金(1/3) 不登校児童生徒支援拠点整備事業費補助金(1/2) ふるさと応援基金繰入金		530千円 17千円 5,000千円			
主要な事務・事業の概要	不登校等にある児童生徒及び当該児童生徒の保護者に対し、教育相談及び通 応指導を通じ、学校生活への復帰等の社会的自立を支援するため、京丹後市教 育支援センター「まわら」の指導員が各小中学校や関係機関と連携しながら支 援を行った。		○需用費(消耗品費 ほか)		148千円				
	<教育支援センター運営経費> ・ 配置人数 5人 教育支援センター指導員(会計年度任用職員) ・ 配置体制 3人(各指導員 週3日 1日7時間) ・ 通所児童生徒数 17人(小学生4人、中学生13人) ・ 相談延べ件数 828件 ・ 来所延べ人数 1,239人 ・ 延べ訪問回数 77回 ○会計年度任用職員任用経費(5人分) 9,823千円 ・ 報酬 6,846千円 ・ 期末手当 1,260千円 ・ 共済費(社会保険料、労災保険料、雇用保険料) 1,353千円 ・ 費用弁償 364千円		○役員費(通信運搬費 ほか)		102千円				
				○使用料及び賃借料(コピー機借り上げ料)		136千円			
				○教員経験の豊富な指導員による児童生徒等への学習及び生活の支援や、 スクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザーのカウンセリングなど により、個々のケースに応じた支援を行い、学校復帰や進路実現等の社会 的自立を図ることができた。 ○市内の小中学校の不登校児童が増加していることから、府配置のスクール カウンセラー、まなび・生活アドバイザー等とも連携し、支援センターの 中核機能を果たす上で個々の状況をアセスメントするとともにアウトリー チ型の訪問等を各校へ行うなど、支援を確実かつ的確に行う必要がある。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																			
	項	02 小学校費																																									
	目	02 小学校教育振興費																																									
	事業	04 小学校スクールサポーター等設置事業																																									
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		60,282千円	60,928千円	646千円	98.9%	課	学校教育課																																			
目的	スクールサポーターを配置し、児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。		府補	きょうと地域連携交付金(スクールサポーター等設置事業)		19,040千円																																					
主要な事務・事業の概要	○介護職員 27人(1日7時間、週5日勤務) ○講師 1人(1日7時間、週5日勤務)		○スクールサポーター28人(会計年度任用職員)任用経費 60,275千円 ・ 報酬 40,900千円 ・ 期末手当 8,419千円 ・ 共済費(社会保険料、労災保険料、雇用保険料) 8,754千円 ・ 費用弁償 2,202千円		配置一覧																																						
	○事務費(校外学習引率に伴う旅費、入場料、参加負担金等) 7千円				<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>介護</th> <th>学校名</th> <th>介護</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山小</td> <td>5人</td> <td>橋小</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>しんざん小※</td> <td>2人</td> <td>丹後小</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>長岡小</td> <td>1人</td> <td>吉野小</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>大宮第一小</td> <td>4人</td> <td>弥栄小</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>大宮南小</td> <td>2人</td> <td>久美浜小</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>網野北小</td> <td>2人</td> <td>高龍小</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>網野南小</td> <td>3人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>島津小</td> <td>1人</td> <td>計</td> <td>28人</td> </tr> </tbody> </table> ※講師1人含む		学校名	介護	学校名	介護	峰山小	5人	橋小	1人	しんざん小※	2人	丹後小	1人	長岡小	1人	吉野小	1人	大宮第一小	4人	弥栄小	2人	大宮南小	2人	久美浜小	2人	網野北小	2人	高龍小	1人	網野南小	3人			島津小	1人	計	28人	○必要に応じてスクールサポーターを配置することで、円滑な授業や効率的な学校運営を行うことができた。 ○児童一人ひとりの課題・特性を把握するとともに、必要とする学校を的確に見極め、効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。
学校名	介護	学校名	介護																																								
峰山小	5人	橋小	1人																																								
しんざん小※	2人	丹後小	1人																																								
長岡小	1人	吉野小	1人																																								
大宮第一小	4人	弥栄小	2人																																								
大宮南小	2人	久美浜小	2人																																								
網野北小	2人	高龍小	1人																																								
網野南小	3人																																										
島津小	1人	計	28人																																								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																											
	項	03 中学校費	38,027千円	45,691千円	7,664千円	83.2%																																													
	目	02 中学校教育振興費				(参考)当初予算額	課	学校教育課																																											
	事業	04 中学校ｽｰﾊﾟｰﾓﾀｰ等設置事業				45,902千円																																													
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		府補	部活動指導員配置促進事業補助金(2/3)		1,754千円																																													
			府補	きょうと地域連携交付金(ｽｰﾊﾟｰﾓﾀｰ等設置事業)		10,991千円																																													
目的	スクールサポーターを配置し、生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。		主な財源																																																
主要な事務・事業の概要	○介護職員 3人(1日7時間、週5日勤務) ○講師(小中一貫コーディネーター) 6人(1日7時間45分、週4日勤務) ○心の教室相談員 3人(1日7時間、週5日勤務) ○部活動指導員 11人(1日1時間、年間250時間勤務) ○事務補助員 1人(1日6時間、週5日勤務)		配置一覧 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>介護</th> <th>小中一貫 コーディネーター</th> <th>相談員</th> <th>部活動 指導員</th> <th>事務 補助員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山中学校</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td rowspan="6">3人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>大宮中学校</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>網野中学校</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>丹後中学校</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>弥栄中学校</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>久美浜中学校</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3人</td> <td>6人</td> <td>3人</td> <td>11人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>						学校名	介護	小中一貫 コーディネーター	相談員	部活動 指導員	事務 補助員	峰山中学校	1人	1人	3人	2人	0人	大宮中学校	0人	1人	2人	0人	網野中学校	1人	1人	2人	0人	丹後中学校	0人	1人	1人	0人	弥栄中学校	1人	1人	2人	0人	久美浜中学校	0人	1人	2人	1人	計	3人	6人	3人	11人	1人
	学校名	介護	小中一貫 コーディネーター	相談員	部活動 指導員	事務 補助員																																													
峰山中学校	1人	1人	3人	2人	0人																																														
大宮中学校	0人	1人		2人	0人																																														
網野中学校	1人	1人		2人	0人																																														
丹後中学校	0人	1人		1人	0人																																														
弥栄中学校	1人	1人		2人	0人																																														
久美浜中学校	0人	1人		2人	1人																																														
計	3人	6人	3人	11人	1人																																														
	○スクールサポーター24人(会計年度任用職員)任用経費 37,812千円 ・報酬 26,808千円 ・期末手当 4,804千円 ・共済費(社会保険料、労災保険料、雇用保険料) 4,797千円 ・費用弁償 1,403千円 ○事務費(市内移動に伴う旅費) 215千円		成果・課題 ○必要に応じてスクールサポーターを配置することで、円滑な授業や効率的な学校運営を行うことができた。 ○心の教室相談員を配置し、生徒が悩みを話せる環境を整えることで、生徒の不安を和らげることができた。また、部活動指導員を配置することで、部活動の質の向上と部活動担当教諭の負担軽減を図ることができた。 ○生徒一人ひとりの課題・特性を把握するとともに、必要とする学校を的確に見極め、効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。																																																

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																										
	項	02 児童福祉費	210千円	272千円	62千円	77.2%																												
	目	01 児童福祉総務費				(参考)当初予算額	課	子ども未来課																										
	事業	02 家庭こども相談室事業				272千円																												
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		主な財源																															
目的	家庭児童の適正な養育及び福祉の向上を図る。																																	
主要な事務・事業の概要	要保護児童対策地域協議会構成機関等と連携の下、児童虐待の未然防止、早期発見と適切な対応を行うとともに、支援の必要な児童や家庭(育児不安・養育力危惧・不登校等)について相談援助活動・家庭訪問・同行支援等を行った。		○京丹後市児童相談等取扱件数 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>詳細</th> <th>件数</th> <th>種別</th> <th>詳細</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">養護</td> <td>児童虐待</td> <td>334</td> <td rowspan="2">育成</td> <td>性格行動</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>113</td> <td>不登校</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>障害</td> <td>発達障害</td> <td>0</td> <td rowspan="2">計</td> <td>適性・育児等</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>非行</td> <td><犯行為等</td> <td>0</td> <td>453</td> </tr> </tbody> </table>						種別	詳細	件数	種別	詳細	件数	養護	児童虐待	334	育成	性格行動	0	その他	113	不登校	3	障害	発達障害	0	計	適性・育児等	3	非行	<犯行為等	0	453
	種別	詳細	件数	種別	詳細	件数																												
養護	児童虐待	334	育成	性格行動	0																													
	その他	113		不登校	3																													
障害	発達障害	0	計	適性・育児等	3																													
非行	<犯行為等	0		453																														
	○旅費 調整担当者研修会等旅費 84千円 ○使用料 有料道路通行料 4千円 ○需用費 啓発物品・事務用品等 27千円 ○役務費 職員対応用携帯電話通話料(3台) 85千円 ○負担金 京都府家庭相談員連絡協議会負担金 10千円		○要保護児童対策地域協議会運営状況 ・代表者・実務者会議 2回 ・ケース進行管理会議 5回 ・ケース検討会議 136回 ・講演会 1回(令和3年11月20日開催) 参加者129人 演題「子どもの虐待を防ぐ 具体的な事例と発達障害の子どもの対応」																															
成果・課題			○調整担当者研修会を受講し、複雑・多様化する家庭児童問題に対応するための専門的知識を向上させることができた。コロナの関係でZOOM開催となった研修が多く旅費が予定より少なくなった。 ○面談・家庭訪問・電話相談の実施、ケース検討会議の開催、要保護児童対策地域協議会の取組等により、さまざまな課題のある家庭への対応や支援を行うことができた。 ○相談取扱件数が増加傾向にある中、適切に迅速な支援につなげるため、担当者の研鑽を重ねるとともに、関係機関との連携をさらに深めるなど、体制の充実を図る必要がある。																															

外費科目	款	10 教育費	本年度決算額	1,026千円	最終予算額	1,066千円	不用額	40千円	執行率	部	教育委員会事務局														
	項	04 社会教育費							96.2%																
	目	02 社会教育推進費							(参考)当初予算額																
	事業	04 家庭教育事業							1,750千円																
課	生涯学習課		506千円																						
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		府補		家庭教育支援基盤形成事業補助金(2/3)		506千円																		
目的	発達段階に応じた学習及び交流機会を提供するとともに、PTA活動を支援することによって、全ての教育の出発点であり、子どもの成長の基礎となる家庭教育を推進する。		主な財源																						
主要な事務・事業の概要	乳児期から就学前、思春期の各発達段階に応じた学習機会の提供と家庭教育支援チームによる子育て支援活動を実施したほか、PTA活動の支援を行った。		○子育て講座(講師謝金等)		205千円																				
	○家庭教育支援チーム事業(ファミリーーター謝金等) 563千円		子育て経験者や専門的な知識・経験を有するサポーターで構成する「家庭教育支援チーム」を各地域公民館で組織し、地域課題に即した子育て支援活動を行った。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>回数</th> <th>延べ参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳幼児期子育て講座</td> <td>4回</td> <td>126人</td> </tr> <tr> <td>就学前、思春期子育て講座</td> <td>3回</td> <td>240人</td> </tr> <tr> <td>親子リフレッシュ体操教室</td> <td>15回</td> <td>228人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>22回</td> <td>594人</td> </tr> </tbody> </table>		事業	回数	延べ参加者数	乳幼児期子育て講座	4回	126人	就学前、思春期子育て講座	3回	240人	親子リフレッシュ体操教室	15回	228人	合計	22回	594人				
	事業	回数	延べ参加者数																						
	乳幼児期子育て講座	4回	126人																						
就学前、思春期子育て講座	3回	240人																							
親子リフレッシュ体操教室	15回	228人																							
合計	22回	594人																							
※家庭教育支援チーム：計6チーム、子育てサポーター：計49人		○京丹後市PTA協議会補助金 258千円		市研究大会の開催、各種研修会の参加、安全会掛金等への助成																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>回数</th> <th>延べ参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育て交流会</td> <td>3回</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td>「手紙で結ぶ家族の絆」事業</td> <td>14回</td> <td>429人</td> </tr> <tr> <td>子育て広場</td> <td>6回</td> <td>223人</td> </tr> <tr> <td>高校生と赤ちゃんのふれあい交流</td> <td>5回</td> <td>119人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>28回</td> <td>813人</td> </tr> </tbody> </table>		事業	回数	延べ参加者数	子育て交流会	3回	42人	「手紙で結ぶ家族の絆」事業	14回	429人	子育て広場	6回	223人	高校生と赤ちゃんのふれあい交流	5回	119人	合計	28回	813人	成果・課題		○子どもの発達段階に応じた子育てに関する学習機会を提供し、子どもとのコミュニケーションの大切さや、生活習慣を身に付けさせるための家庭の役割の重要性などについて啓発することができた。 ○課題を関係機関と共有し、より効果的な学習会等の実施を進める必要がある。			
事業	回数	延べ参加者数																							
子育て交流会	3回	42人																							
「手紙で結ぶ家族の絆」事業	14回	429人																							
子育て広場	6回	223人																							
高校生と赤ちゃんのふれあい交流	5回	119人																							
合計	28回	813人																							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	219,211千円	最終予算額	219,794千円	不用額	583千円	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 児童福祉費							99.7%		
	目	02 子育て支援費							(参考)当初予算額		
	事業	02 放課後児童健全育成事業							223,981千円		
課	子ども未来課										
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進		使用料		放課後児童健全育成事業利用料		22,749千円				
目的	保護者の就労等により放課後や長期休業期の昼間に家庭保育を受けることができない児童に対し、安全で充実した生活の場を与えることにより、その健全な育成を図る。		国補		子ども子育て支援交付金(1/3)、保育士等処遇改善臨時特別交付金(10/10)		21,469千円				
主要な事務・事業の概要	■開設状況		府補		子ども子育て支援交付金(1/3)		19,219千円				
	年間開設日数：314日(うち日曜日・祝日開設分：27日)		府補		新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金(10/10)		571千円				
	開設時間：授業終了後～午後6時30分		繰入金		ふるさと応援基金繰入金		34,000千円				
	(長期休業期及び土曜日、日曜日・祝日は午前7時30分～午後6時30分)										
年間平均児童数：501人(10か所、12支援単位)		○工事請負費		293千円							
峰山54人・長岡21人・いさなご45人・大宮65人		・峰山トイレ改修工事									
口大野①52人・口大野②49人・網野南57人・網野北34人		○備品購入費		3,310千円							
丹後21人・弥栄26人・久美浜①38人・久美浜②39人		・エアコン(峰山・口大野)		889千円							
○需用費(消耗品費、燃料費、光熱水費等)		7,350千円		・サーモグラフィカメラ(10クラブ、10台)		2,310千円					
○委託料(消防設備点検、浄化槽点検、児童送迎車運転等)		10,329千円		・電話機他(いさなご・網野南・久美浜)		111千円					
○放課後児童健全育成事業委託料(10クラブ)		196,646千円		○送迎車両整備経費(峰山・口大野・網野南・丹後・久美浜)		202千円					
				○その他の経費(火災・自動車共済等保険料・自動車重量税ほか)		1,081千円					
				成果・課題		○利用者数が増加傾向にある中、待機児童ゼロを継続し児童の健全な育成を図るとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援することができた。 ○保育士等の処遇改善に係る国からの協力要請を受け、国の交付金を活用し、委託先の放課後児童支援員の処遇改善を行った。(2、3月分) ○年々増加傾向にある利用者に対応するため、小学校の空き教室等の更なる活用など、施設拡充を検討する必要がある。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	04 社会教育費	433千円	434千円	1千円	99.7%			
	目	02 社会教育推進費				(参考)当初予算額			
	事業	07 放課後子ども教室事業				780千円			
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進	府補	京のまなび教室推進事業補助金(2/3)			289千円	課	子ども未来課	
目的	放課後に小学校の余裕教室を子どもたちの安全・安心な居場所として活用し、地域住民の参画により、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。		主な財源						
主要な事務・事業の概要	○委託料 放課後子ども教室運営委託料(2か所) 433千円								
	※事業の概要								
		網野北小学校区放課後子ども教室	網野南小学校区放課後子ども教室						
	実施場所	網野北小学校施設内	網野南小学校施設内						
	委託先	放課後子ども教室実行委員会	放課後子ども教室実行委員会						
	実登録人数	42人	76人						
	参加児童数	延べ615人(1回平均36人)	延べ1,064人(1回平均63人)						
	支援員の数	延べ113人(1回平均7人)	延べ168人(1回平均10人)						
	実施日	令和3年4月～令和4年3月(授業のある水曜日の放課後)							
	活動内容	自主学習、体験活動、集団遊び、自由遊び、スポーツなど							
※実登録人数は令和4年3月末時点の人数									
※新型コロナウイルス感染症対策のため、両教室とも当初36回の実施回数を17回とした。									
成果・課題	○子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)として放課後子ども教室を開設し、地域住民の協力を得て子どもたちに世代間交流の機会を提供するとともに、さまざまな体験活動を実施することができた。 ○子ども教室の運営は、地域住民の協力を得て実施することになっており、スタッフの確保が課題である。								

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 児童福祉費	119千円	231千円	112千円	51.5%		
	目	01 児童福祉総務費				(参考)当初予算額		
	事業	03 子ども未来まちづくり審議会事業				231千円		
基本計画	25 子育て支援の総合的な推進	主な財源						
目的	すべての子どもが健康で幸せに暮らせるまちづくりの推進及び子ども・子育て支援事業計画、保育所再編等推進計画、特定教育・保育施設の利用定員の設定等について審議する。							
主要な事務・事業の概要	令和元年度に策定した「第2期子ども子育て支援事業計画」の事業進捗状況、特定教育・保育施設の利用定員の設定について情報共有及び協議するとともに、今後の子育て支援拠点等の在り方について審議するため、審議会を開催した。							
	○報酬(審議会委員)	委員:10人 3回開催	104千円					
	○旅費(費用弁償)		15千円					
	※審議会開催等の状況							
		日程	審議内容					
	第1回	令和3年6月29日	・子育て支援拠点等について					
	第2回	令和3年8月24日	・子ども・子育て支援事業について					
	第3回	令和3年9月30日	・特定教育・保育施設利用定員について					
	・審議会への諮問:令和3年6月14日 「今後の子育て支援拠点等の在り方について」							
	平成30年度に実施した、子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査及び「はは笑みプロジェクト事業 子育てWeb懇談会」で、「天候に関係なく遊ぶことのできる屋内施設がほしい」「交流の場の提供を」といった意見が多くあったため、その在り方を検討するにあたり、諮問を行った。							
・審議会からの答申:令和3年10月22日								
成果・課題	○今後の子育て支援拠点等の在り方について審議会に諮問し、審議・答申していただいた。 ○今後も、多様化する子育て支援ニーズへの対応、子どもや子育てに関し審議していただき、子育て世帯すべての子どもたちが健康で幸せに暮らせるまちづくりを推進していく必要がある。							